



滋賀県議会議員

奥村よしまさ

Okumura Yoshimasa Kensei Report

県政レポート



Vol.47
平成31年1月発行



滋賀・草津が、もっと元気になるために!!

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

昨年是一年を象徴する漢字に「災(わざわい)」が選ばれたように、実に災害の多い一年でした。

年が明け、この1月には草津市で1,562名の若者たちが新成人となります。今年がどんな一年になるかはまだ誰にもわかりません。しかし、彼らが未来に希望を抱き、笑顔で暮らせる元気な滋賀・草津を創っていくことが私たち県政に携わる者の務めであります。今年4月に統一地方選挙が行われ、5月には新元号での新しい時代が始まります。新成人の方にも、もっとも政治への関心を持っていただき、一人でも多くの方に投票していただけるよう活動することも、私たち議員の大きな務めです。

皆様の今年一年のご健康とご多幸をお祈り申し上げますとともに、下記のスローガンを掲げ、今年も元気に笑顔で活動してまいりますので、倍旧のご支援とご指導を衷心よりお願い申し上げます。

ひとが元気!!

- 教育環境の充実による学力の向上!
- 地域包括ケアシステム構築で医療・介護を強化!
- 文化・スポーツ振興で心身ともに健康!

まちが元気!!

- 中小企業・農業支援で産業発展!
- 防災防犯対策で安心・安全強化!
- 滋賀の魅力発信で観光誘引!

自然が元気!!

- 琵琶湖の保全と活用!
- 環境こだわり農業の取組拡大!
- 林業成長産業化と森林づくり!

元気が一番!!



行政経営方針について

知事の2期目にあたり新たに策定される「滋賀県行政経営方針2019」(原案)では、2026年度までに、累計で839億円もの財源不足が見込まれています。県はこれまでも10年以上にわたって、事業費の削減や職員の給与カット、人員削減に取り組んでこられ、それらについては一定の評価をしているところです。今回も経営方針原案と並行して収支改善の検討も進めておられますが、補助金等事業費の削減は、市町や各種団体の財政のみならず、県内経済に影響を及ぼすと思われます。知事の考えをお伺いします。

<知事の回答>

収支改善の検討では、県内経済への影響を考慮し、将来の歳入確保につながる施策や県単独で行う公共事業などについて一定配慮しながら進めてきましたが、県経済への影響は皆無とは言えないと考えております。新年度予算では、農林水産業の振興、中小企業の活性化、産業を支える人材の育成・確保などの産業振興施策をしっかりと検討してまいります。

◆収支改善の検討状況(歳出)

(単位:千円)

	2019年度		2020年度		2021年度		2022年度	
	削減額							
	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源	事業費	一般財源
①補助金等の削減	▲498,227	▲469,679	▲998,262	▲601,858	▲1,065,294	▲668,890	▲1,113,258	▲764,354
②委託料の削減	▲236,912	▲190,406	▲255,329	▲210,267	▲333,677	▲288,959	▲322,001	▲277,760
③内部事務費、施設管理費、 その他事務事業費等	▲614,912	▲389,854	▲656,854	▲448,354	▲710,102	▲505,542	▲808,750	▲611,233
④公社、事業団等に対する 財政支出の削減等	▲71,103	▲67,587	▲71,823	▲68,307	▲84,603	▲81,087	▲82,523	▲79,007
⑤繰出金の削減	▲70,308	▲70,308	▲70,308	▲70,308	▲70,308	▲70,308	▲70,308	▲70,308
合計	▲1,491,462	▲1,187,834	▲2,052,576	▲1,399,094	▲2,263,984	▲1,614,786	▲2,396,840	▲1,802,662

歳出カットばかりで経済が落ち込んで意味がありません。歳入確保の取組強化とのバランスが大切です!



マイクロプラスチック対策について

近年、マイクロプラスチックと呼ばれる微細なプラスチック類が海洋に流出し、海洋生態系に影響を及ぼす等の懸念が世界的に高まっておりますが、琵琶湖でもマイクロプラスチックの存在が明らかとなっており、早急な対策の必要性を感じているところです。H30年、国では「海岸漂着物処理推進法」が改正され、廃プラスチック類の排出の抑制、再生利用等による減量など適正な処理を定める旨を規定しています。これは海岸漂着物を対象とした法律ですが、マイクロプラスチックを抑制することは、当然本県でも行う必要があると思います。抑制取組について知事の考えをお伺いします。



<知事の回答>

本県におきましては、マイクロプラスチックの発生源の一つと考えられますプラスチックごみの発生抑制に向けて、レジ袋の無料配布の中止や辞退の呼びかけなどを進め、無料配布を中止した店舗における辞退率は、H29年度末で89.6%となっています。また、びわ湖の日をはじめとする環境美化活動に取り組むとともに、環境美化監視員等による監視パトロールや啓発活動などを通じて、河川等へのごみの流出防止に努めてきたところです。

今後、琵琶湖のマイクロプラスチックの抑制を進めるためには、プラスチックごみの発生源などその実態をより詳細に把握した上で、ターゲットを絞り、効果的な対策を講じていくことが必要だと考えております。

今後は環境先進県として、産官学民が連携して抑制モデルを作り、世界に先駆け示していくことが必要です!



滋賀県議会議員
文教・警察常任委員会 委員
議会運営委員会 委員
スポーツ振興対策特別委員会 委員

自民党滋賀県支部連合会
幹事長

事務所 〒525-0041 草津市青地町692-15 サンハイム東草津1F TEL:077-567-1500 FAX:077-567-1588

自宅 〒525-0042 滋賀県草津市山寺町477 TEL・FAX:077-562-4841

奥村 芳正

活動日記毎日更新中!

<http://www.genki-shiga.jp>

facebookも
チェック! →

奥村芳正

携帯でも
発信して
います! →



あなたの声を県政に！ いのちとくらしを守ります

編集・発行／自由民主党滋賀県議会議員団

LIBERAL & DEMOCRATIC
自由民主党

滋賀県議会議員団

県議会レター

会派代表質問 11月定例会議

質問者
大野和
三郎議員



1. 広域行政について
2. 平成31年度当初予算編成方針について
3. 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の準備状況について
4. 林業の担い手育成と木材利用について
5. 地域包括ケアシステムを支える医療福祉人材について
6. 本県の産業振興における新たなイノベーションの創出に向けて
7. 環境こだわり農業のさらなる推進について
8. みどりのみずへの将来ビジョンについて
9. 教員の指導力向上について

「奥村よしまさ県政報告会」を開催させていただきました。

昨年
12/23



草津エストピアホテルにて



ご来場頂いた皆様、ご協力頂いた皆様、本当にありがとうございました。当日は、橋川渉草津市長、石破茂衆議院議員、武村展英衆議院議員、小寺裕雄衆議院議員、有村治子参議院議員、二之湯武史参議院議員、小鍵隆史参議院議員をはじめ滋賀県議会や草津市議会からも多くの議員仲間や地域でご活躍される数多くの皆様方にご来場いただきました。

また、市民の皆様からは多くの貴重なご意見やご要望を伺うことができましたので、滋賀をますます元気にするために、今後の活動にしっかりと活かしてまいります。



声

皆様の声を
県政に届けるため
22名 全力で
頑張っています。

()内は期数



お住まいの地域の私たちに
ご意見・ご要望をお聞かせください。

●長浜市



野田 藤雄(3)
のだ ふじお



川島 隆二(3)
かわしま りゅうじ

●彦根市・犬上郡



西村 久子(3)
にしむら ひさこ



細江 正人(2)
ほそえ まさと



大野 和三郎(2)
おおの わさぶろう

●近江八幡市・竜王町



有村 國俊(2)
ありむら くにとし



高木 健三(2)
たかぎ けんぞう

●東近江市・日野町・愛荘町



周防 清二(1)
すおう せいじ



加藤 誠一(1)
かとう せいいち



村島 茂男(1)
むらしま しげお

●野洲市



吉田 清一(6)
よした せいいち

●守山市



岩佐 弘明(2)
いわさ ひろあき

●栗東市



竹村 健(2)
たけむら やすし

●草津市



奥村 芳正(3)
おくむら よしまさ

●湖南市



生田 邦夫(3)
いくた くにお

●大津市



佐野 高典(5)
さ の たかのり



山本 進一(2)
やまもと しんいち



佐藤 健司(2)
さとう けんじ



目片 信悟(2)
めかた しんご



桑野 仁(1)
くわの ひとし

●甲賀市



家森 茂樹(6)
やもり しげき



富田 博明(2)
とみだ ひろあき